

TAHARA MUNICIPAL MUSEUM  
**田原市博物館**  
 〒441-3421 愛知県田原市田原町巴江11-1  
 TEL 0531-22-1720 FAX 0531-22-2028



利用のご案内

開館時間 午前9時～午後5時  
 (入館は午後4時30分まで)

休館日 毎週月曜日(祝日の場合はその翌平日)  
 展示替日(展示期間以外は展示替となります)  
 年末年始12月28日～1月4日

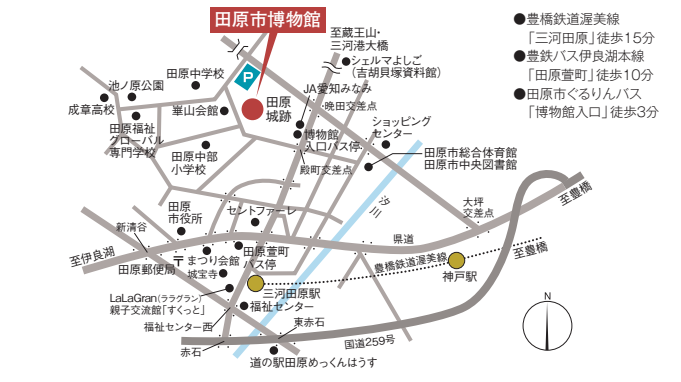
観覧料 一般 310円(240円)  
 小中学生 150円(120円)

- ( )内は20人以上の団体割引料金です。
- ・特別展、企画展の観覧料は別に定めます。

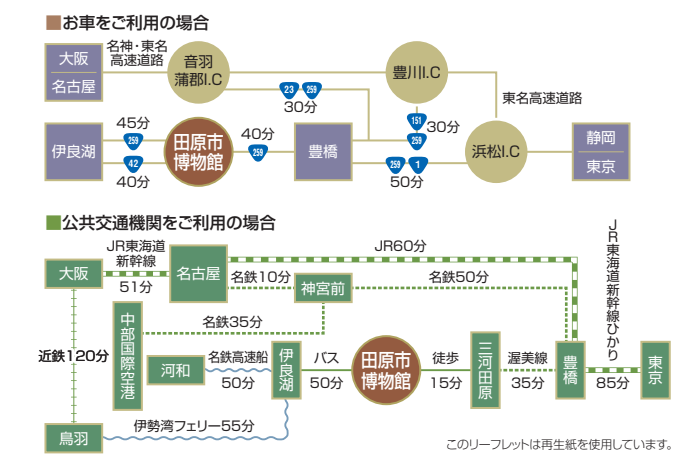


◆下記に該当される方の観覧は無料です。

- ・「ほの国子どもパスポート」をお持ちの方 東三河在住・在学の小・中学生はパスポートの提示で入館無料
- ・学校行事としての来館(事前に減免申請書の提出が必要)
- ・「身体障害者手帳」、「精神障害者保健福祉手帳」、「療育手帳」をお持ちの方と同伴者1名 入館の際に手帳またはスマートフォンアプリ「ミライID」の手帳画面をご提示ください。



**田原市渥美郷土資料館** 入館無料  
 〒441-3695 愛知県田原市古田町岡ノ越6-4  
 TEL 0531-33-1127 (田原市博物館に転送されます)  
 開館時間 ●午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)  
 休館日 ●毎週月曜日(祝日の場合はその翌平日)、年末年始12月28日～1月4日



周辺のご案内

**吉胡貝塚史跡公園**  
 シェルマよしこ(徒歩25分)  
 吉胡貝塚は縄文時代の後期・晩期を中心とした日本を代表する貝塚です。これまでの発掘調査で300体を超える縄文人骨が出土し、考古学・人類学の研究に大いに貢献しました。吉胡貝塚史跡公園は文化遺産に気軽に楽しく接していただき、渥美半島の自然や歴史を体感できる施設です。

**池ノ原公園(徒歩5分)**  
 池ノ原公園は幕末の蘭学者・画家でもある渡辺崋山が塾居を命じられ、晩年を過ごし、自ら果てた屋敷跡です。静かな公園内には、幽居跡と渡辺崋山の銅像があります。

**池ノ原会館(徒歩5分)**  
 池ノ原公園内に、茶華道等伝統文化活動の場として建てられた池ノ原会館。館内では気軽に抹茶を味わえる「立礼席(一服400円お菓子付)」もあります。

- TEL(0531)23-2446
- 営業時間/午前10時～午後4時
- 休館日/毎週月曜日(祝日の場合はその翌平日)

**田原城跡**  
 田原城は、1480(文明12)年頃、戸田宗光によって築城。周りを海に囲まれた堅固な城で、湾の形が巴形になっていたことから、「巴江城」とも呼ばれていました。1664(寛文4)年、三宅康勝が拝領し、以来三宅家の居城として明治維新をむかえました。桜門と二の丸櫓が復元されています。

**崋山神社(徒歩1分)**  
 田原城出丸(新倉)跡に建てられた崋山神社。渡辺崋山の遺徳をしのび、毎年命日の10月11日に大祭が開催されます。



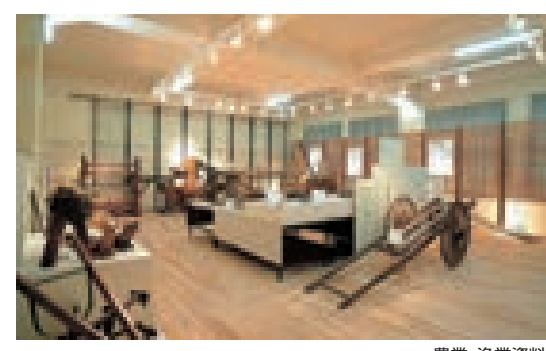
田原市博物館の周辺を探索してみよう

こちらよりウォーキングトレイルマップにアクセス

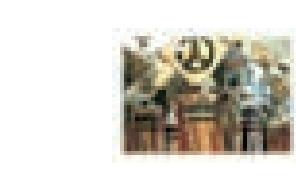
# (田原市博物館) 周辺図



一つひとつの道具が時代を語る。



利用のご案内  
 所在地 田原城桜門正面  
 ※現在は、1928(昭和3)年頃建築され、学校や武道館として使用されてきた建物の外観のみ、見学いただけます。



**二の丸櫓**  
 二の丸櫓は、博物館入口の正面にあります。以前は文化財取蔵庫として利用されていましたが、その後、改築され、平成15年4月から考古資料を中心に展示するようになりました。吉胡貝塚、山崎遺跡、渥美古窯などの考古資料や田原城関係の資料が展示されています。



**田原市 民俗資料館**  
 田原市民俗資料館は、田原市博物館に隣接し、田原城桜門の正面にあります。江戸時代以降の庶民の暮らしを中心にした歴史民俗・生活・工芸資料などが展示されています。資料の展示・解説にとどまらず、身近で、楽しく学ぶことのできる場とし、開館にその時代を感じるすることができます。



田原市民俗資料館

利用のご案内  
 所在地 博物館入口正面  
 開館時間 午前9時～午後5時  
 (入館は午後4時30分まで)  
 観覧料 無料



田原市の歴史は古く旧石器時代にさかのぼり、伊勢神宮領、渥美古窯、戸田宗光の田原城築城までの歴史的な流れは、市内に所在する遺跡等にその痕跡を見ることができます。江戸時代においては、田原藩一万二千石の拠点となり、廃藩置県に至るまで渥美半島の中心となっていました。幕末の先覚者渡辺崋山は、田原藩の家老であり、その功績は歴史上、美術史上高い評価を受けています。このような歴史的環境のもと、田原市には重要文化財渡辺崋山関係資料、国指定史跡吉胡貝塚・大アラコ古窯跡・百々陶器窯跡、田原藩関係資料等、数多くの文化財及び史跡が存在しています。これらを広く展示公開して学習の場、レクリエーションの場に供することは極めて重要なことです。田原市博物館は、明日の地域文化の振興のために開館しました。

一つひとつの作品が、崋山のここを語りかける。



Watanabe Kazan  
1793-1841

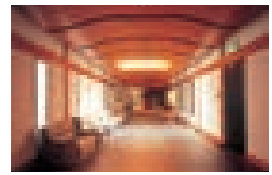
## 渡辺崋山

学者として、画家として、また政治家として活躍した渡辺崋山は、1793(寛政5)年、江戸の田原藩上屋敷(現最高裁判所付近)で生まれました。8歳から藩に仕え、鷹見星臯や佐藤一斎、松崎慊堂らから、朱子学や陽明学を学びました。幼少の頃から絵画にも親しみ、すぐれたデッサン力をもとに、独特の描線と西洋画の遠近法などをとり入れ、多くの名作を世に送りだしました。40歳で藩の家老職に就いてからは、田原藩の政務に貢献。義倉「報民倉」を設け、天保の飢饉のときに1人の餓死者もださなかったことは有名です。また一方では、高野長英らと西洋事情を研究し、鎖国の非を『慎機論』で記しましたが、幕政批判とされ田原で蟄居を命じられました。藩に災いが及ぶのを恐れ1841(天保12)年、49歳で自刃しました。

重要文化財 渡辺崋山「千山万水図」  
1841(天保12)年

## 渡辺崋山、その光と影がここにある。

激動の江戸時代後期を生きた渡辺崋山。田原藩家老であり、画家としても名を成し、蘭学者の顔も見せる。そんな崋山の関係資料を中心に親しみやすく、わかりやすい展示で崋山のすべてを紹介しています。



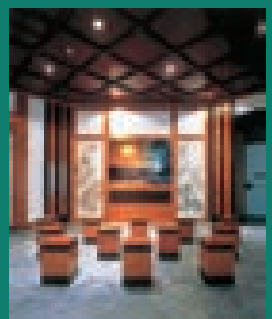
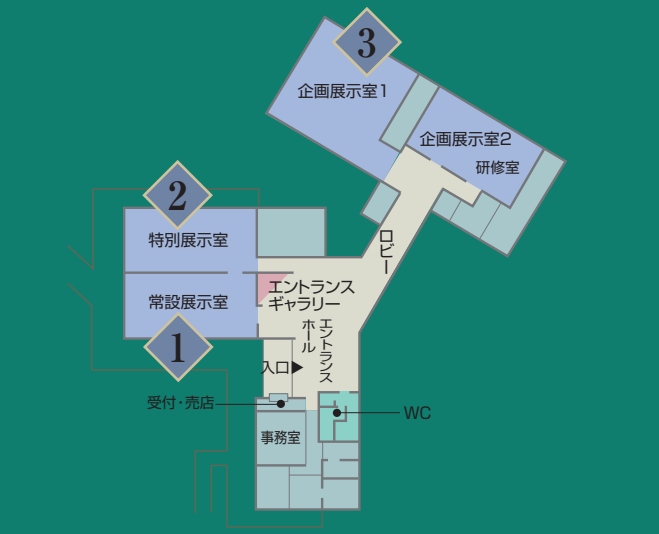
ロビー



重要文化財 渡辺崋山「一掃百能図」  
1818(文政元)年



桜門



エントランスギャラリー  
大型プロジェクターで渡辺崋山の生涯をわかりやすく紹介しています。

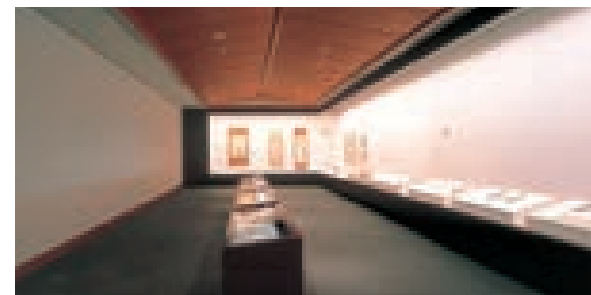


エントランスホール



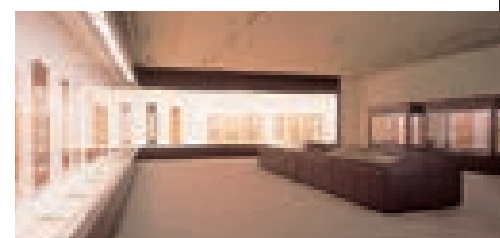
### 1 常設展示室

常設展示室は、江戸時代後期の蘭学者画家でもある渡辺崋山の生涯に様々な角度からスポットを当て、写真イラスト等を使用したグラフィックパネルでわかりやすく紹介しています。



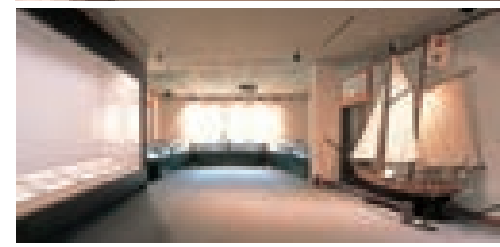
### 2 特別展示室

特別展示室では、渡辺崋山と崋山の師友弟子を中心とした絵画資料歴史資料を展示しています。



### 3 企画展示室 1・2

企画展示室では、特別企画展とテーマを持った展覧会が開催され好評を博しています。くわしくは当館HPや展示案内カレンダーをご覧ください。



※企画展開催等、時期により展示内容が異なります。